

ICTセミナー2016 in 高松



参加無料
定員100名

事前申込者優先
先着順

平成28年4月29日から30日まで高松市で開催されるG7香川・高松情報通信大臣会合のイベントとして、情報通信の普及啓発を図り、大臣会合開催に向けた地域の気運を高めるためのセミナーを開催します。

■日時：平成28年2月2日（火）14:00～16:45

■場所：かがわ国際会議場

（高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー タワー棟6階）

■定員：100名程度（無料）

14:00～ 開会

14:10～ ■基調講演：「我が国の情報通信政策について」【60分】

新井 孝雄（あらい たかお）総務省情報通信国際戦略局国際政策課長

15:10～ 休憩【15分】

15:25～ ■講演①：「地方創生におけるICTの役割（仮）」【30分】

佃 昌道（つくだ まさみち）高松大学・高松短期大学 学長
かがわ情報化推進協議会 副会長

＜遠隔医療の取組事例紹介：「安心安全な出産をすべてのお母さんへ」＞【15分】

尾形 優子（おがた ゆうこ）メロディ・インターナショナル株式会社 代表取締役

16:10～ ■講演②：「ICT活用による地域活性化に向けた取組み」【30分】

井口 法文（いぐち のりふみ）西日本電信電話株式会社 ビジネス営業本部
クラウドソリューション部 地域ICT推進担当部長

16:40～ 閉会

お問い合わせ、お申し込み：

四国総合通信局 電気通信事業課（皆川、合田）

TEL:089-936-5041 FAX:089-936-5014

e-mail:shikoku-jigyuu@soumu.go.jp

<講師プロフィール・講演概要>

■ 基調講演 新井 孝雄 (あらい たかお) 総務省情報通信国際戦略局国際政策課長



<講師略歴> 1989年:郵政省入省、2008年:情報流通行政局情報セキュリティ対策室長、2009年:情報流通行政局情報通信作品振興課長、2011年:文部科学省生涯学習政策局参事官、2013年:総合通信基盤局電波部衛星移動通信課長、2015年より現職。

<講演概要> ・2016年4月に「G7香川・高松情報通信大臣会合」が開催され、各国情報通信担当大臣が今後の情報通信政策について議論を交わします。
・G7会合を控える我が国の情報通信政策の動向について、お話しします。

■ 講演① 佃 昌道 (つくだ まさみち) 高松大学・高松短期大学 学長 かがわ情報化推進協議会 副会長



<講師略歴> 1957年5月1日生まれ。2004年に高松大学・高松短期大学学長、2008年に学校法人四国高松学園 理事長に就任。現在は、学長と理事長を兼務しながら、各種学会をはじめ社会活動にも尽力している。

<講演概要> 香川におけるICT産業の振興や「K-MIX」を核とした遠隔医療の推進など、香川のICTの動向と地方創生におけるICTの役割など、今後の展望について講演。

<遠隔医療の取組事例紹介>



尾形 優子 (おがた ゆうこ) メロディ・インターナショナル(株) 代表取締役

<講師略歴> 京都大学大学院工学研究科原子核工学専攻、2000年:四国4県電子カルテ事業参画、2002年:株式会社ミトラを設立(2015年まで代表取締役) 2009年:JV A 中小企業庁長官表彰 起業家部門受賞、2015年:メロディ・インターナショナル株式会社設立。

<紹介概要> 妊婦さんのための遠隔医療システムで一つでも多くの新しい命を育てて行きたい。あらゆる医療と健康をICTで支える事業を行っています。

■ 講演② 井口 法文 (いぐち のりふみ) 西日本電信電話株式会社 ビジネス営業本部 クラウドソリューション部 地域ICT推進担当部長



<講師略歴> 1995年:日本電信電話株式会社 入社
2011年:西日本電信電話株式会社 鳥取支店 法人営業部長
2013年:ビジネス営業本部 クラウドソリューション部 ソリューション担当部長、2015年より現職。

<講演概要> NTT西日本ではICT利活用したまちづくり、地域社会の活性化に向け「スマート光タウン」を推進しております。それらの取り組みについて、具体的な事例を交えてお話しします。

★申込方法: FAX、e-mailでお申し込みください。

★申込締切: 平成28年1月29日(金)まで

ICTセミナー2016 in 高松 参加申込書

FAX : 089-936-5014

事務局 : 四国総合通信局 電気通信事業課

e-mail : shikoku-jigyou@soumu.go.jp

1	ご所属又はご住所			
	お名前		電話	
2	ご所属又はご住所			
	お名前		電話	
3	ご所属又はご住所			
	お名前		電話	

※いただいた個人情報は適正に管理し、当セミナーの目的にのみ使用します。